

Ⅱ. 研修内容に関すること

1. 研修期間 (12)か月

2. 研修プログラム

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付けて 下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容
		講義	演習			
4月	1か月の振り返り	○		部署外 (研修室)	3h	・1か月の現場での不安、感じたことをグループワークにて表出、共有する
5月	①看護必要度・看護記録	○	○	部署外 (研修室・外来)	3h	・看護必要度の目的を理解し、各項目を判断できる ・入院患者受け入れ手順と情報収集の目的について理解し、看護記録に残すことができる ・グループワーク
	②不安に思う看護技術・夜勤・時間外業務	○	○	部署外 (研修室・外来)	3h	・夜勤帯・時間外の院内システムと対応及び看護を知る ・看護技術確認 ・グループワーク
6月	①褥瘡ケア	○	○	部署外 (研修室)	3h	・褥瘡の予防法、治療法についての基礎知識を学ぶ ・事例を通し当院における褥瘡関連書類の記入ができる ・グループワーク
	②BLS	○	○	部署外 (研修室)	3h	・BLS・挿管の目的を理解し介助ができる ・一次救命処置の意義を理解し技術を身につける ・グループワーク
7月	①呼吸器管理	○	○	部署外 (研修室)	3h	・酸素カニューレ、酸素マスク装着中の看護・注意点、人工呼吸器装着中の患者ケアの知識・技術を修得する ・グループワーク
	②3か月の振り返り ・臨床検査	○	○	部署外 (研修室)	3h	・3か月の振り返りを行い、悩みや不安を表出し、共有する 新たな気持ちで看護実践に臨むことができる ・当院の臨床検査について理解する
8月	① ・医療安全① ・輸液管理	○	○	部署外 (研修室)	3h	・看護師としての責務を確認し医療安全の基礎となる知識を深める(その①) ・輸液ポンプ・シリンジポンプを正しく取り扱うことができ、又、トラブル時の対応ができる
	②集中ケア	○	○	部署外 (研修室)	3h	・患者観察と看護のポイントを理解する ・グループワーク
9月	①心電図の基本	○	○	部署外 (研修室)	3h	・基本の波形・不整脈・虚血性心疾患・心停止
	② ・6か月の振り返り ・受け持ち看護師の役割	○		部署外 (研修室)	3h	・入職6か月の自己目標の評価を行い。1年目の目標設定と具体的な行動計画を立案する ・受け持ち看護師としての役割、業務について具体的に理解する

※1 時期には実施月をご記入ください。

※2 形式には講義・演習の当てはまる方に○を記入して下さい。両方に○を記入しても差し支えありません。

※3 新人自身が所属する部署の場合「部署内」、自身の所属する部署以外の場合「部署外」と記入して、さらに、具体的な場所を記入して下さい。

※4 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目に○を付けて下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容
		講義	演習			
10月	STについて	○		部署外 (研修室)	1.5h	・摂取訓練技法について学ぶ
11月	NST活動の理解	○		部署外 (研修室)	1.5h	・当院のNST活動を知り、栄養管理の基礎知識を修得する ・グループワーク
12月	医療安全②	○	○	部署外 (研修室)	1.5h	・看護師としての責務を認識医療安全の基礎となる知識を深める(その②)
1月	チューブ管理	○	○	部署外 (研修室)	1.5h	・チューブ・カテーテル類の取扱い及び留置中の看護ケアについて理解を深める
2月	ケーススタディの取り組み	○		部署外 (研修室)	1.5h	・受け持ち患者を通し看護過程の展開を実践し、行った看護を振り返りをまとめる。看護者の果たす役割やチーム医療についての理解を深める
3月	1年の振り返り	○		部署外 (研修室)	1.5h	・1年の目標設定と2年目の目標設定

※1 時期には実施月をご記入ください。

※2 形式には講義・演習の当てはまる方に○を記入して下さい。両方に○を記入しても差し支えありません。

※3 新人自身が所属する部署の場合「部署内」、自身の所属する部署以外の場合「部署外」と記入して、さらに、具体的な場所を記入して下さい。

※4 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

3. 研修の指導体制の詳細(各看護単位、看護部門)

- ・看護部門:看護部長－教育担当師長(新人看護師教育責任者)－病棟師長－主任－プリセプター(新人看護師指導担当者)
- ・各看護単位:各部署での指導はプリセプターが行い、主任、師長がフォローする。
- ・集合研修では主に主任会・教育委員会が行い、専門の領域においては各員会の委員が行う。

4. 各看護単位では経験できないが、新人看護職に必要な知識・技術の修得方法

- ・新人看護師の集合形式による研修
- ・県の主催の新人看護職員集合研修への参加

5. 経験できる技術が少ない場合の工夫

- ・モデル人形を使い演習を行っている(BLS、静脈内注射、点滴静脈注射など)

Ⅲ. 新人看護職員の到達度等の評価に関すること

1. 評価時期(自由にご記入ください)

- ・3ヶ月、6ヶ月、1年にて評価

2. 評価者(自由にご記入ください)

- ・新人担当プリセプター、病棟主任、病棟師長

3. 評価方法(自由にご記入ください)

・厚生労働省の新人看護職員研修ガイドラインに示された到達目標を参考にし病院独自に新人看護師チェックリストを作成し、チェックリストにて評価した。

IV. 指導者等の育成に関すること

1. 実地指導者の育成に関する取り組み(研修の実施等)について(自由にご記入ください)

・年に3回、新人担当プリセプター研修の実施。次期プリセプター候補者への研修の実施
・県が主催する指導者研修、プリセプター研修への参加

2. 教育担当者の育成に関する取り組み(研修の実施等)について(自由にご記入ください)

・県が主催する教育担当者研修への参加

V. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

・受動的な研修ではなく、グループワークを取り入れるなど能動的な研修を行った。又、講義形式でなく、演習形式を多く取り入れた。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

・チェックリストにて評価を行っているが、項目により、表面的には身についた様に見えるが、実際にアセスメントできているのか、適切な自己判断ができているのかは不明で評価できていない。